

研 究 業 績 書

平成 年 月 日  
氏名 \_\_\_\_\_ 印

(著書)

[欧文]

1. Kochi T, Tosa J: Environmental & Preventive Medicine (Nankoku S, Nakamura S eds) Molecular carcinogenesis, pp65-85, ○○ Printing, Tokyo, 1998
2. Kochi T: Handbook of Human Vibration, pp1-354, ○○ Press, London, 2002

[和文]

1. 高知太郎, 土佐次郎, 南国三郎, 中村四郎, 安芸五郎, 窪川六郎: 筋組織の神経支配 (南国三郎, 中村四郎編) 第2章 各動物の筋組織の構造, 30-100頁, ○○書院, 東京, 1996
2. 高知太郎: 平滑筋線維の分析, 全500頁, ○○書房, 大阪, 1997

(学術論文)

[原著, 欧文]

1. Kochi T, Tosa J: Some observations on muscle spindle of the frog. T Cell Biol 35:105-126, 1995 (IF3.20)

[原著, 和文]

- △ 1. 土佐次郎, 高知太郎: 筋紡錘知覚終末の電子顕微鏡による比較形態学的研究, 電子顕微鏡 35: 51-80, 1997
2. 高知太郎: 筋紡錘知覚の電子顕微鏡による形態学的研究, 電子顕微鏡 36: 111-117, 1998

(学会発表)

[国際学会]

一般演題

1. Kochi T, Tosa J: Some observations on muscle spindle, 36th International Congress of Muscle Spindle, Paris, 1996

[国内全国学会]

シンポジウム

1. 高知太郎, 土佐次郎: 眼の強膜と網膜のグリコーゲン代謝について, 第○回日本○○学会シンポジウム: 眼の糖代謝, 高知, 1994

# 研究業績一覧表（記載様式）

平成 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_ 印

著書	計〇〇冊（うち単著又は筆頭者〇〇冊）
欧文	〇〇冊（うち単著又は筆頭者〇〇冊）
和文	〇〇冊（                   〃                   〇〇冊）
学术论文	計〇〇編（うち単著又は筆頭者〇〇編）
原著	欧文〇〇編（うち単著又は筆頭者〇〇編）
	和文〇〇編（                   〃                   〇〇編）
総説	欧文〇〇編（                   〃                   〇〇編）
	和文〇〇編（                   〃                   〇〇編）
症例報告	欧文〇〇編（                   〃                   〇〇編）
	和文〇〇編（                   〃                   〇〇編）
その他	欧文〇〇編（                   〃                   〇〇編）
	和文〇〇編（                   〃                   〇〇編）
Impact Factor 総得点	〇〇点

【うち単著又は筆頭者の Impact Factor 総点数〇〇点,  
Corresponding author（上記の「単著又は筆頭者」分を除く）の  
Impact Factor 総点数〇〇点】

学会発表	計〇〇回（うち筆頭者〇〇回）
国際学会	
特別講演	〇〇回
シンポジウム	〇〇回（うち筆頭者〇〇回）
パネル・ディスカッション	〇〇回（                   〃                   〇〇回）
ワークショップ	〇〇回（                   〃                   〇〇回）
一般講演	〇〇回（                   〃                   〇〇回）
国内全国学会	
特別講演	〇〇回
教育講演	〇〇回
シンポジウム	〇〇回（うち筆頭者〇〇回）
パネル・ディスカッション	〇〇回（                   〃                   〇〇回）
ワークショップ	〇〇回（                   〃                   〇〇回）
一般講演	〇〇回（                   〃                   〇〇回）

注) 国内全国学会の一般講演については、必ずしも計上する必要はありません。  
ただし、一覧表に計上する場合は、研究業績書にも必ず記載してください。

# 記 載 要 項

下記の事項に十分ご留意の上，応募書類を作成して下さい。

## 1. 履歴書（様式1）

- (1) 記載例に従って記載して下さい。年号は和暦で記載して下さい。
- (2) 「学歴」の欄には，高等学校卒業以降の学歴を記載して下さい。  
学位については，授与された大学名も記載して下さい。  
医師免許証，歯科医師免許証等の取得及び交付番号はこの欄に記載して下さい。
- (3) 「職歴」の欄には，職歴及び研究生，専修生等（外国留学等を含む）について記載し，教育歴及び研究歴には，所属講座・部門等まで記載して下さい。
- (4) 「学会及び社会における活動等」の欄には，学会会員，認定医，専門医，指導医，標榜医等の資格及び全国的な社会活動を記載して下さい。  
科学研究費補助金等の取得歴については，代表研究者分と分担研究者分を分けて（末尾にそれぞれ代表，分担と記載）年代順に記載して下さい。また，同一テーマで多年度にわたり取得している場合は1つにまとめて下さい。  
特許については，特許取得分，特許出願分の課題名と出願番号，公開番号等を記載して下さい。
- (5) 「賞罰」の欄には，研究活動に関する表彰等も記載して下さい。

## 2. 研究業績書（記載例に基づく）

研究業績書記載例を参照して，A4用紙に記載して下さい。1枚に記載しきれない場合は，同大の用紙を追加し，右上隅に番号をつけて下さい。また，作成書類は，左側を綴じ代として25mm空けて下さい。

### (1) 著書

- ・ 欧文，和文別に分け，年代順に記載して下さい。
- ・ 分担執筆の場合は，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。
- ・ 2頁以内の分担執筆（和文）は「学術論文」欄の「その他」に分類して下さい。
- ・ 印刷中（In Press）のものについては，掲載証明書を添付して下さい。

### (2) 学術論文

- ・ 原著，総説，症例報告，その他（Proceedings や資料，報告書など）の順で欧文，和文に分け，年代順に記載して下さい。なお，著者全員の氏名を論文記載の順で記し，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。
- ・ 原著，総説，症例報告，その他の項目それぞれについて，欧文，和文別に一連番号をつけて下さい。
- ・ 責任著者（Corresponding author）（「単著又は筆頭者」分を除く）としての論文（記載要項2.(4)参照）には△印を論文番号の前につけて下さい。
- ・ Journal Citation Reports（最新版）のImpact Factorを，各論文の後に（ ）をつけて記載して下さい。
- ・ 印刷中（In Press）のものについては，掲載証明書を添付して下さい。

### (3) 学会発表

学会発表は，国際学会については，特別講演，シンポジウム，パネルディスカッション，ワークショップ，一般講演の区分を明示し，それぞれ年代順に記載して下さい。また，発表者は全員を記載し，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。

国内学会は，全国学会についてのみ，特別講演，教育講演，シンポジウム，パネルディスカッション，ワークショップに分け，それぞれ年代順に一連番号を付けて記載して下さい。一般講演については，必ずしも記載の必要はありません。また，発表者は全員を記載し，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。

### (4) 研究業績一覧表

研究業績目録に記載した業績を，記載様式に従って一覧表に記載して下さい。

Impact Factor の総得点並びに，Impact Factor の総得点のうち単著又は筆頭者，及びCorresponding author（「単著又は筆頭者」分を除く）のImpact Factor の総点数をそれぞれ記載して下さい。